

令和元年9月19日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

広報室

&lt;「ハイパフォーマンス統括人材の育成支援」事業&gt;

第2期ハイパフォーマンスディレクター/ワールドクラスコーチ育成プログラム

**受講者の成長を支えるメンター陣の決定**

ビジネス界・学術界からのメンタリングを通しスポーツ界の将来を担う人材育成を支援

日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)では、平成29年度より「ハイパフォーマンスディレクター(HPD)／ワールドクラスコーチ(WCC)育成プログラム」を開発・実施しています。本プログラムは、東京2020オリンピック・パラリンピック以降に各競技団体において競技力強化をけん引する人材が、より高度な戦略立案やマネジメントの手法を身に付けられるような構成としており、本プログラムを開発・実施することで、国際大会における持続的な日本人選手の活躍と、スポーツ界全体の発展を促進することを目指しています。

本プログラム開発の一環として、これまでのスポーツ人材育成では珍しいメンター制度を導入しています。受講者のメンターとして、ビジネス界・学術界の方々にもご協力いただき、受講者に対してメンタリングを実施していただきます。これにより、スポーツ界だけにとどまらないネットワーク創出と新たな学びの機会を提供していきます。このたび、今年度から本プログラムの受講を開始した第2期生のメンターが決定しましたので、お知らせします。

**【第2期生 メンター一覧】(五十音順)**

氏名	所属
・伊藤 雅充氏	日本体育大学体育学部 教授、コーチングエクセレンスセンター センター長
・植田 実氏	日本テニス協会 常務理事
・北村 秀夫氏	元(株)東芝 副社長
・木村 剛氏	中央大学国際経営学部 准教授
・黒岩 純氏	流通経済大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
・齋藤 勝己氏	(株)東京個別指導学院 代表取締役社長
・齋藤 れい氏	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 准教授
・竹内 映二氏	日本テニス協会 強化本部副本部長、テクニカルサポート委員
・玉井 孝明氏	元東京海上ホールディングス(株)取締役副社長
・中竹 竜二氏	日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター
・長谷川 博和氏	早稲田大学大学院経営管理研究科 教授
・原園 浩一氏	東芝プラントシステム(株)取締役社長

(令和元年9月現在)

※JSCが実施する本事業は、HPD及びWCC育成のためのプログラムを開発する事業です。

## ●メンタリングとは？

「メンタリング」とは人材育成の手法の1つで、豊富な経験・知識・スキル・見識を持つ人（メンター）が、他者（メンティ）の成長のためにアドバイス・情報・ガイダンス・サポートチャンスを提供し、メンティの課題解決や個人の成長を支えるという関係性を意味します。本プログラムにおけるメンタリングでは、メンターとメンティ（受講者）は月に1回のメンタリングを実施します。メンターは主に、本プログラムの国内集合研修の最終回（2021年3月）に実施される、受講者によるプレゼンテーションに向けてのアドバイスをすることで、受講者の学びを促進させます。また、受講者の日常的な相談にもものごともあり、受講者がHPD、WCCに求められる行動特性（コンピテンシー）を身に付けられるよう支援します。対面での実施が基本ですが、国内外での遠征等で多忙を極める受講者に配慮し、オンラインでの実施もしています。メンターが受講者の現場（練習、試合等）を訪問し、その後メンタリングを実施することもあります。また、メンターのネットワークを活用して、他業種の専門家との出会いを創出することもあります。

引用：（独）日本スポーツ振興センター スポーツ開発部 女性アスリートの戦略的強化・支援プログラム「ハイパフォーマンススポーツにおける女性の戦略的強化」、2018

第2期の受講生一覧と主なスケジュールについては別紙をご覧ください。

## ハイパフォーマンスディレクター／ワールドクラスコーチ育成プログラムについて

### ●第2期プログラム受講者

今年度から開始した第2期プログラムの受講者は下表のとおりです。

HPD/WCC	氏名(所属)
HPD	池端 弘幸 (日本卓球協会)
	魚住 稿 (日本ブラインドサッカー協会)
	竹内 智香 (全日本スキー連盟)
	田中 辰美 (日本障害者スポーツ射撃連盟)
	中澤 吉裕 (日本車いすテニス協会)
	永井 祐司 (日本ホッケー協会)
	水鳥 寿思 (日本体操協会)
	森井 貴志 (日本身体障がい者水泳連盟)
	横田 真人 (日本陸上競技連盟)
WCC	高橋 章 (日本ホッケー協会)
	信田 憲司 (日本パラアイスホッケー協会)
	藤田 佑平 (日本障害者スキー連盟)

### ●第2期プログラム(2か年)スケジュール

日程	内容
2019年5月	個別アセスメントの実施
2019年6月	国内集合研修(3ヶ月毎に実施、1回目)を実施、実地研修を開始
2019年9月	国内集合研修(2回目)を実施
2019年10月～	メンタリングを開始(予定)
2019年11月	海外研修(オーストラリア)を実施(予定)